

# 11. オートラジオグラフィー用 イメージ強化剤

薄層クロマトグラフィーやポリアクリルアミドゲル、そして組織切片上の低レベル放射能の検出を改善することができます。



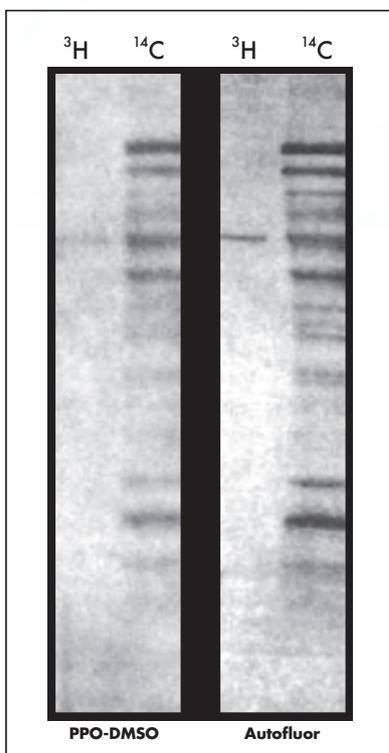
## オートフルオー (AutoFluor™) イメージ強化剤

カタログ番号	数量
LS-315-2	1L × 2本
LS-315-4	1L × 4本

消防法  
該当なし

### アプリケーション

- ポリアクリルアミドゲルまたは薄層クロマトグラフィープレート上の放射標識サンプルの蛍光間接撮影



オートフルオーは、オートラジオグラフィーのイメージ強化剤として開発された、世界初の水溶性のシンチレーション蛍光剤です。アクリルアミドゲルシステムに急速に浸透し、標識化合物から蛍光物質へのエネルギー移動を最大にします。水ベース、無臭、また DMSO (ジメチルスルホキシド) を含まないため安全に使用できます。非水溶性エンハンサーを使用することによるバンドの歪みからも開放されます。

図解の左側のゲル (7%、1mm) は、DMSO で 1 時間脱水し、その後 PPO-DMSO で 1 時間飽和させ、沈殿、乾燥させたものです。右側のゲルは、オートフルオーを 1 時間浸透させ、乾燥させたものです。ゲルは両方とも Kodak XR-5X-OMat フィルムで 24 時間 -76℃ で露光したものです。<sup>3</sup>H の単一バンドは 5,000dpm です。オートフルオーと PPO-DMSO の解像度とバンドの識別の差にご注目ください。

オートフルオーを用いた手順は、β 放射体の強化と可視化のためにまだ開発されていない最短かつ簡単な方法です。8 つの異なる蛍光法を比較した独立試験によると、オートフルオーが最もポリアクリルアミドゲル中の <sup>35</sup>S 標識タンパク質の検出において効果的であることが分かりました。オートフルオーの場合、X 線フィルムを半飽和させるのに必要な dpm/mm<sup>2</sup> は、オートラジオグラフィー単独で必要とされる 1/8 でした。

保管法：直射日光を避け、常温で保管してください (最短使用期限：1 年間)。凍結しないように保管してください。20℃ 以下の気温では水溶性蛍光体の沈殿が起こる可能性があります。なお、約 30℃ まで暖めると、蛍光体が再溶解します。

米国 National Diagnostics 社では、一次シンチレータおよび二次シンチレータ (Primary and Secondary Scintillators) も取り扱っております。ご興味をお持ちの方は、桑和貿易株式会社までお問い合わせください。